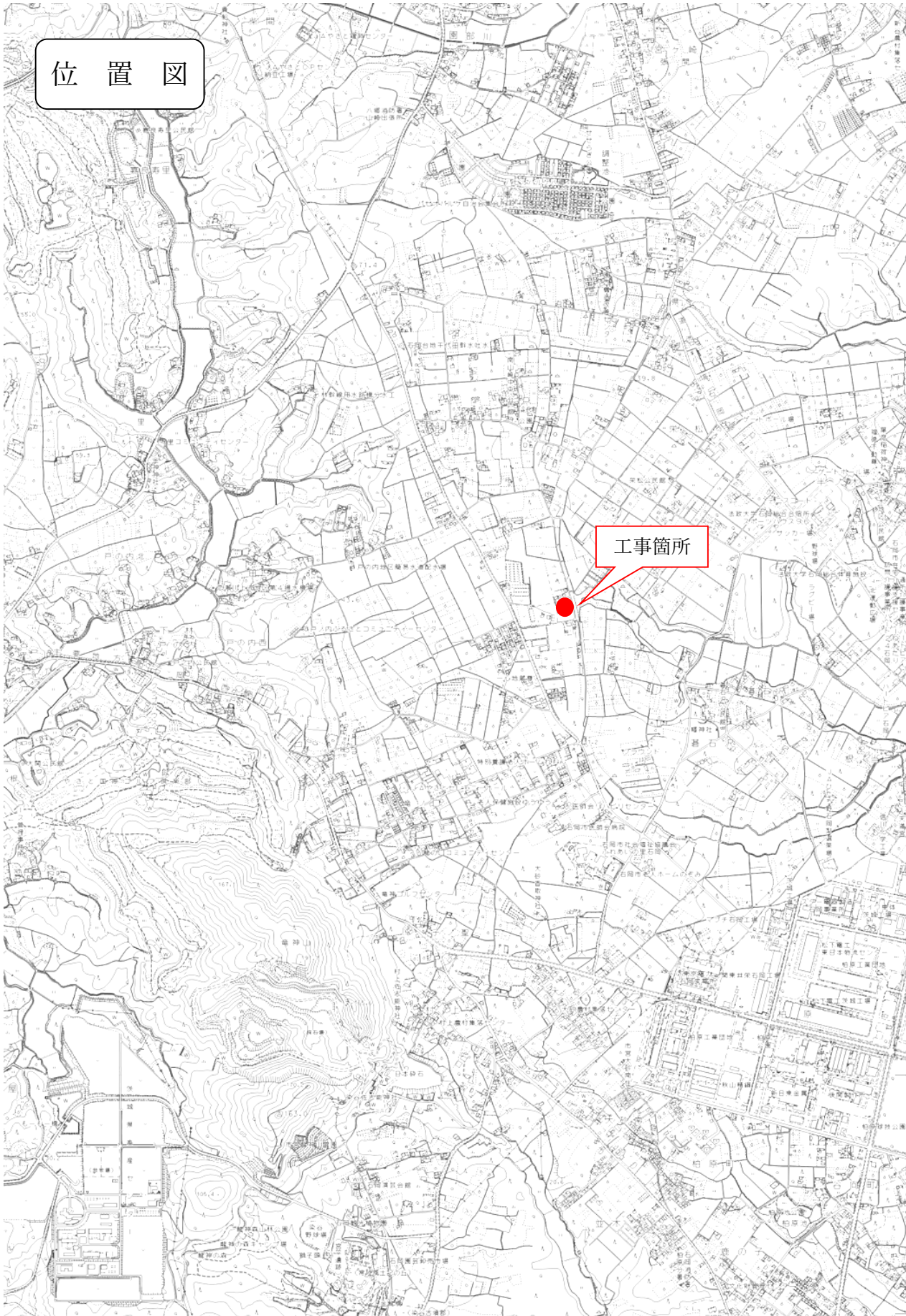


工事起工 概要書

			部 長	次 長	課 長	課長補佐	課 員	課 員	審 査 員	設 計 者	
執行年度			令和 元年度								
工事番号 工事名		R元市単特環第3号管渠工事 起工 設計書									
工事場所 又は履行場所		石岡市 山崎									
施工方法		請負			原契約年月日		年 月 日				
工期又は 履行期間		令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 60日間									
受注者											
費 目		起 工	第1回変更	増 減 (△)							
起 工 額					変更請負に付する工事価格 =変更積算工事価格×請負比率 請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)						
請負(委託) に付する額											
工事(業務) 価 格					変更積算工事価格 - 円 請負比率 -						
測量試験費 又は工事雑費											
消費税相当額					変更工事価格 - 円						
請負(委託) 決 定 額											
工 事 概 要											
内 容		規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3	
管路(開削)工事		L =	45.5	m	φ =	150	mm	土被り		m	
管布設工VUΦ150		L =	42.8m								
組立1号人孔		N =	3.0基								
汚水柵及び取付管		N =	3.0箇所								
付帯工(仮・本復旧)		N =	1.0式								
変更理由											

位置図



建設工事及び建設コンサルタント業務等の起工伺の添付書類について

- 工事起工伺・業務委託伺・随意契約決裁用紙にて（変更を含む）起工する建設工事及び建設コンサルタント業務等において、位置図のほかに工事場所又は履行場所の全景写真（状況がわかるもの）の添付をお願いします。

【参考】

○工事名又は業務名 R 元市単特環第 3 号管渠工事

○工事場所又は履行場所 石岡市山崎地内

全景上流



全景下流



- ※ ・必要と思われる重要な箇所については、詳細写真を適宜添付してください。
- ・位置図の次に綴ってください。

特記仕様書

第1章 総則

本工事の施工にあたっては、「契約約款」「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」「茨城県土木工事施工管理基準」「茨城県土木工事出来高及び品質の規格値」「写真管理基準（案）」並びに本仕様書に基づき施工するものとする。

第2章 工事数量

当該工事における工事数量は、別紙「工事数量総括（内訳）表」のとおりとする。

第3章 現場条件

1. 工事期間

本工事の工事期間は、契約締結日の翌日から60日間とする。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇とする。

2. 作業時間帯

本工事の作業時間帯は、下記に示すとおりとする。なお、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

作業開始 午前9時00分

作業終了 午後5時00分

3. 安全管理

(1) 茨城県公安委員会告示第3号（平成19年2月22日付け）で指定された路上で交通規制を行う場合は有資格者（交通誘導員A）を適宜配置すること。また、その他の路線についても警備員（交通誘導員B）を適宜配置し一般交通等に支障を及ぼさないように十分に注意し施工するものとする。

また、受注者は工事の着工前に警備員の資格証明の写しを監督員に提出するものとする。

(2) 工事中の安全施設は、地域住民の安全を守り、トラブルを防ぐために十分な施設を設置するとともに、その管理徹底を図り地域住民の安全な通行を図り事故防止に努めなければならない。また、休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施するものとする。

4. 使用機械

本工事の施工にあたっては、設計書に記載されている機械を使用するものとし記載されていない機械については使用しないこと。ただし、現場条件等により使用が困難な場合は監督員と協議するものとする。

また、設計書に明記してある排出ガス対策型の機械を使用する場合は、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。

5. 地下埋設構造物

(1) 工事箇所が存在する地下埋設物については、事前調査を行い位置・構造・種別において熟知し、場合によっては試験掘りを行い作業員に至るまで埋設物の全容・取扱い・処置方法について周知徹底を図り事故防止に努めなければならない。

(2) 地下埋設構造物が存在することが判明したとき、又は発見したときは、監督員に報告しその指示を受けなければならない。また地下埋設構造物管理者と綿密な連絡をとり十分に協調を保つとともに、工事前及び必要に応じ工事の各段階において施工方法、防護方法等について協議し施工しなければならない。

(3) 埋設物に近接して実施する作業においては、埋設物に衝撃を与える作業機械を使用しない等、埋設物を損傷しないよう留意しなければならない。

6. 廃棄物の処理及び再資源化

(1) 本工事の施工に伴って発生する廃棄物の処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいて処理するものとし、指定処分については監督員の指示に基づくものとする。

- (2) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化の実施について適正な措置を講ずることとする。
- (3) 受注者は、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項を書面に記載し、様式1（平成14年5月29日付け事務連絡「公共建設工事における建設リサイクル法に関する事務手続きの当面の運用について（通知）」の様式1）により監督員に報告すること。
 - I. 再資源化が完了した日
 - II. 再資源化等をした施設の名称及び所在地
 - III. 再資源化等に要した費用

7. 付近の建物等への影響

受注者は工事着手前に近接建物及び構造物の写真撮影を行い工事による影響か否か判断できるようにし、工事による影響があると予想される時及び影響の出た時は、受注者の負担において必要書類を作成し監督員に提出しなければならない。またその処理、対策については監督員と協議しなければならない。

8. 過積載の防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと、並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、又は不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者、又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

9. 不正軽油の使用防止

本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 下請契約の相手方又は燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者又は不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 現場で県税事務所職員が行う使用燃料の抜き取り調査に協力するとともに、調査の際は現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令（地方税法等）に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

10. 工事カルテ登録の対象工事

該当なし

第4章 工事用地等

1. 工事用地等の使用及び返還

- (1) 工事を行うために必要な用地等については、施工に先立ち、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。また、使用に際し必要な関係機関への申請・協議等は施工者の責任において遺漏無く行うものとする。
- (2) 工事期間中の資材置き場及び残土の仮置場等は、十分な安全施設を設置するとともに、その管理徹底を図り事故防止に努めなければならない。休日及び工事休止期間においては定期的にパトロール等を実施し安全の確保に努めること。
- (3) 工事用地等の返還に当たっては、使用条件に基づき必要な処置を講じた後、発注者に通知し、所有者の立会いを行ってから返還しなければならない。

第5章 工事用電力

1. 工事期間中に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とする。

第6章 工事材料

1. 材料

- (1) 工事に使用する材料については、「茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書」に定める条件を満たすものとし、使用前に材料使用届を監督員に提出し承諾を得なければならない。

2. 現場発生品

- (1) 現場発生品のうち路盤材は、管路埋戻しに再利用することとし、使用規模及び使用の可否について事前に監督員と協議し承認を得なければならない。
- (2) 発生土については、下記に示す土質試験を行い規定値以上のものについては、埋戻し土として使用するものとする。
コーン貫入試験 コーン指数 400kN/m² 以上
- (3) 埋戻し土として使用不可と認められる発生土及び残土は、下記の場所に搬入すること。

搬入場所

茨城県石岡市染谷地内

石岡ストックヤード《(一財)茨城県建設技術管理センター》

- I 工事着手前に、(一財)茨城県建設技術管理センター建設副産物リサイクル事業部(以下『管理センター』という。)より利用申し込み書類を取り寄せ、必要事項を記入のうえ監督員の確認を受けてから提出すること。
- II 事前に土質試料を採取してコーン指数試験(含水比を含む)等を行い、試験結果を管理センターへ提出すること。
- III 運搬10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程、ストックヤード利用上の注意事項等を打ち合わせること。
- IV スtockヤード利用料金は、管理センターの請求により支払うこと。
- V その他、ストックヤード利用の詳細については、管理センターと協議のこと。

問合せ先：一般財団法人 茨城県建設技術管理センター

建設副産物リサイクル事業部

水戸市青柳町4195

TEL029-227-5634/FAX029-227-8558

3. リサイクル材の率先利用

使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

受注者は、設計で新材が指定されている場合においても、Aグループに区分された認定資材に代替できる場合は、積極的に努め、代替する旨について、施工計画書提出時に文書で

提出し監督員の承諾を得なければならない。また、受注者は、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、他の認定資材または新材に変更するものとし、その旨を文書で監督員に提出し承諾を得なければならない。

(1)認定資材使用一覧

施工箇所	品目	規格	再生原料等の指定
表層（仮復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生粗粒度アス(20)	指定しない
表層（本復旧）	再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度アス(20)	指定しない
管路碎石埋戻	再生路盤材(再生碎石)	RB-40	指定しない
路盤	再生路盤材(再生碎石)	RC-40	指定しない

第7章 施工計画

1. 工事計画

現場代理人は、工事請負契約後、施工計画書を提出し監督員と協議した後、工事に着手すること。

2. 検測

本工事の基準点及び水準点（B、M）は監督員の指示するものを検測して使用し、工事着手前に、平面図上の距離・現地盤高の確認を行うこと。また、工事施工上の納まりや、取り合いの関係で、材料・寸法・取付け位置・取付け工法等について止むを得ず行う軽微な変更及び測量誤差に起因する軽微な変更は、監督員と協議する。

3. 指定仮設

- (1) 本工事に関する仮設は設計図書に基づき施工するものとするが、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討のうえ、設計図書により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (2) 受注者においても本仮設工に対する施工技術検討を行い、その内容を施工計画書に記載し、提出するものとする。
- (3) 工事の施工については、受注者の責任において実施するものとする。

4. 任意仮設

- (1) 本工事に関する仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については、受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
- (2) 上記の決定にあたっては、条件等に変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、決定・変更するものとする。

第8章 施工管理

1. 施工管理

「茨城県土木工事施工管理基準」に基づいて施工管理を行い、工事完了後速やかに施工管理報告書を提出すること。

2. 工程管理

施工計画書に基づき、適宜監督員と協議を行いながら適正な工程管理を行うものとする。

3. 安全管理

- (1) 工事中の安全管理については十分配慮するものとし、現場条件を考慮したものを具備するものとする。
- (2) 本工事で設置した仮設物については、定期的に見回りを実施するとともに、破損箇所を発見した場合またその恐れがある場合は、速やかに補修を行い安全の確保に努めること。

4. 工事記録写真

- (1) 「写真管理基準(案)」及び設計書に基づいて、各工種を測点毎に適切に撮影し、写真集に収めて、工事工程段階及び工事完了後提出する。
- (2) その他必要と認められたもの、監督員に指示されたものは撮影を行うこと。

第9章 その他

1. 現場管理

- (1) 工事完了後、工事のため混入又は飛散した石れき、木片・樹根・番線・ビニール紐・水系等の工事残材は速やかに除去しなければならない。
- (2) 運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損又は汚れが生じた場合は、すみやかに監督員に協議し補修及び清掃をしなければならない。

2. 契約等について

- (1) やむを得ない理由により、増額変更が生じる場合は、事前に担当課と財政課との協議が必要となるため、発注者は、受注者に通知して、工事の全部又は一部の施工を一時中止させることができる。その際、受注者は工事の続行に備え工事現場を維持し若しくは労働者、建設機械器具等を保持するための費用その他の工事の施工の一時中止に伴う増加費用などを負担しなければならない。

3. 工事成績評定

本工事の工事成績評定については、石岡市建設工事成績評定要綱に基づき行うものとする。

4. 現地地物等の保護

本工事の施工において、影響を受ける境界鉋等については、控えをとり、亡失することのないように施工を行うこと。なお、やむを得ない理由により移動させた場合には、施工後、元の位置に復元すること。

第10章 疑義

本工事において、不明な点又は疑義が生じた場合には、監督員と協議うえ、その指示に従うこと。

工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路			1	式		
管きょ工(開削)			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 52.000 m3 管路砂埋戻 (管上30cm迄) 16.000 m3 管路埋戻(路盤材) (管頂30cm以上) 7.000 m3 管路埋戻 (RB-40) (管頂30cm以上) 18.000 m3 発生土処理 45.000 m3
管布設工			1	式		硬質塩化ビニル管 42.800 m
管基礎工			1	式		砂基礎 (W=0.95m) 42.300 m
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立1号マンホール 3.000 箇所
取付管およびます工			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 6.000 m3 管路砂埋戻 (管上30cm迄) 1.000 m3 管路埋戻(発生路盤材) 0.400 m3 管路埋戻(RB-40) 0.500 m3 管路砂埋戻 (管上30cm以上) 3.000 m3 発生土処理 6.000 m3
ます設置工			1	式		ます 3.000 箇所
取付管布設工			1	式		取付管 7.300 m
付帯工			1	式		
舗装撤去工 (仮復旧時)			1	式		舗装版切断 94.000 m 舗装版破碎 38.000 m2 殻運搬処理 2.000 m3
舗装仮復旧工			1	式		表層 38.000 m2 下層路盤 38.000 m2
舗装撤去工 (本復旧時)			1	式		舗装版破碎 230.000 m2 殻運搬処理 11.000 m3

工事数量総括（内訳）表

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
舗装本復旧工				式		不陸整正 190.000 m2
			1			市道表層 230.000 m2
既設構造物撤去工				式		既設構造物撤去 10.000 m
			1			
仮設工				式		
			1			
安全対策				式		交通誘導員 1.000 式
			1			
処分費				式		
			1			
廃材処分費				式		廃材処分費 1.000 式
			1			
直接工事費計				式		
			1			
共通仮設費（率計上）				式		
			1			
共通仮設費計				式		
			1			
純工事費				式		
			1			
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					52.000	m3			
機械掘削工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))					52.000	m3			第0001号代価表
管路砂埋戻(管上30cm迄)					16.000	m3			
砂埋戻(BH0.2)					16.000	m3			第0003号代価表
管路埋戻(路盤材)(管頂30cm以上)					7.000	m3			
機械投入埋戻工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タンパ締め数量(m3)(実数)(100m3)					7.000	m3			第0005号代価表
管路埋戻(RB-40)(管頂30cm以上)					18.000	m3			
碎石埋戻(RB-40)(BH0.2)					18.000	m3			第0007号代価表
発生土処理					45.000	m3			
発生土運搬工(4t積+BH0.2) ダンプトラック規格(ダンプトラック4t積級),運搬距離(実数入力)(4.1km),DID区間(DID区間なし),バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タイヤ損耗費(良好)					45.000	m3			第0008号代価表
管布設工									
硬質塩化ビニル管					42.800	m			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				硬質塩化ビニル管設置工(市場単価) 規格・仕様(呼び径 150mm), 施工規模(20m 以上), 時間的制約を受ける場合の補正(無) , 夜間作業補正(無)	42.800	m			第0010号代価表
				人孔用可とう継手 Φ150	5.000	個			
				管基礎工					
				砂基礎 (W=0.95m)	42.300	m			
				砂基礎 (市場単価・機械施工)	3.000	m ³			第0011号代価表
				マンホール工					
				組立マンホール工					
				組立1号マンホール	3.000	箇所			
				圧力開放型人孔鉄蓋(変形防止部 材(ボルト含)付, 鍵付) φ600 T-14 勾配受H=110	3.000	個			
				調整リング H=10cm、φ600	5.000	個			
				斜壁 (1号用) H=450mm	1.000	個			
				斜壁 (1号用) H=600mm	2.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=600mm	2.000	個			
				管取付壁 (躯体ブロック) 1号用 H=900mm	1.000	個			
				底版 (1号用) H=130mm	3.000	個			
				削孔費 (0号・楕円・1号用) Φ150	3.000	箇所			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				底部工 (1号用, 標準用, 本管φ150)	3.000	箇所			第0013号代価表 20190901
				組立マンホール設置工(市場単価) 規格・仕様(1号(900mm) 3m以下), 施工規模(4箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	3.000	箇所			第0016号代価表
				取付管およびます工					
				管路土工					
				管路掘削	6.000	m3			
				機械掘削工(小型ハックホ) 小型ハックホ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3))	4.000	m3			第0017号代価表
				掘削 土質(土砂), 施工方法(現場制約あり)	2.000	m3			施工P 第0019号代価表
				管路砂埋戻(管上30cm迄)	1.000	m3			
				砂埋戻(BH0.1)	1.000	m3			第0020号代価表
				管路埋戻(発生路盤材)	0.400	m3			
				機械投入埋戻工(小型ハックホ) 小型ハックホ規格(排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)), タンパ締固め数量(m3)(実数)(100m3)	0.400	m3			第0021号代価表
				管路埋戻(RB-40)	0.500	m3			
				碎石埋戻(RB-40)(BH0.1)	0.500	m3			第0022号代価表
				管路砂埋戻(管上30cm以上)	3.000	m3			
				砂埋戻(BH0.1)	1.000	m3			第0020号代価表
				人力砂埋戻(タンパ締固め)	2.000	m3			第0023号代価表

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
					6.000	m3			
					6.000	m3			第0025号代価表
					3.000	箇所			
					2.000	箇所			第0027号代価表
					1.000	箇所			第0028号代価表
					1.000	組			
					7.300	m			
					2.000	箇所			第0029号代価表

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				取付管布設および支管取付工(市場単価) 規格・仕様(管径 150mm), 施工規模(5箇所未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無), 取付管長3m未満の場合の補正(有), 取付管長5m以上12m未満の補正(無), 本管材質コンクリート製・陶製の補正(無)	1.000	箇所			第0030号代価表
				人孔用可とう継手 Φ100	2.000	個			
				付帯工					
				舗装撤去工 (仮復旧時)					
				舗装版切断	94.000	m			
				As舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版), アスファルト舗装版厚(15cm以下), 費用の内訳(全ての費用)	94.000	m			施工P 第0031号代価表
				舗装版破碎	38.000	m2			
				As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	38.000	m2			施工P 第0032号代価表
				殻運搬処理	2.000	m3			
				As殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間無し) (22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)	2.000	m3			施工P 第0033号代価表
				舗装仮復旧工					
				表層	38.000	m2			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				表層 (再生粗粒度As、t=3cm) 平均幅員(1.4m未満 (仕上厚50mm以下)), 1 層当平均仕上厚 50mm以下(30 mm), 材料(再 生粗粒度アスファルト混合物 (20)), 瀝青材料種 類(無し), 費用の内訳(全ての費用)	38.000	m2			施工P 第0034号代価表
				下層路盤	38.000	m2			
				下層路盤(RC-40、t=22cm) 全仕上り厚 (実数入力) (220 mm), 施工区 分(2層施工), 材料(再生クラッシュ RC-40), 費 用の内訳(全ての費用)	38.000	m2			施工P 第0035号代価表
				舗装撤去工 (本復旧時)					
				舗装版破碎	230.000	m2			
				As舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm 以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)	230.000	m2			施工P 第0032号代価表
				殻運搬処理	11.000	m3			
				As殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎), 積込工法区分(機 械 (騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間 の有無(無し), 運搬距離 (km) (DID区間無) (22.0km以下), 費用の内訳(全ての費用)	11.000	m3			施工P 第0033号代価表
				舗装本復旧工					
				不陸整正	190.000	m2			
				不陸整正 (補足材RC-40, 平均厚t =2cm) 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(17mm以上21mm未満), 補足材料(再生クラッシュ RC-40), 費用の内訳(全ての費用)	190.000	m2			施工P 第0036号代価表
				市道表層	230.000	m2			

本工事費内訳書

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
				表層 (再生密粒度As、t=5cm) 平均幅員(3.0m超),1層当平均仕上厚 70mm 以下(50 mm),材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	230.000	m ²			施工P 第0037号代価表
				既設構造物撤去工					
				既設構造物撤去	10.000	m			
				長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価] 作業区分(据付 再利用撤去),U字側溝種類(KUS300*300),夜間作業の有無(無),時間的制約の有無(無し),施工箇所による補正(無),基礎碎石施工の有無(有),基礎碎石の種類(再生クラッシャーレン RB-40),基礎碎石設計数量(0.5 m ³ /10m)	10.000	m			第0038号代価表
				コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価] 作業区分(据付 再利用撤去),蓋版の種類(ISL-300),夜間作業の有無(無),時間的制約の有無(無し),施工箇所による補正(無)	10.000	枚			第0039号代価表
				仮設工					
				安全対策					
				交通誘導員	1.000	式			
				交通誘導警備員B	5.000	人日			第0040号代価表
				処分費					
				廃材処分費					
				廃材処分費	1.000	式			
				ストックヤード利用料金 発生土搬入	51.000	m ³			

本 工 事 費 内 訳 書

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	30.000	t			
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 機械掘削工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 バックホ規格	入力値 1	入力名称 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
-------	----------------	----------	--------------------------------

第 0002 号 代価表 バックホウ[クローラ]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)

1.000 時間 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (特殊)		人			
軽油 1. 2号	6.300	L			
バックホウ (クローラ) [標準] 排ガス型 (第2次) 山積0.28m3		時間			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称

第 0003 号 代価表 砂埋戻 (BH0.2)

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m ³			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m ³ (平0.2m ³)),タン バ締固め数量(m ³)(実数)(100 m ³)	1.000	m ³			第0004号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0004 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2	タンパ締固め数量(m3)(実数)	100	100 m3

第 0005 号 代価表 機械投入埋戻工(バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ[クロー]排対(2次)山積0.28m3(平積0.2m3)		時間			第0002号 代価表 20190901
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P 第0006号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	バックホ規格	1	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)
J 0 2	タンパ締固め数量(m3) (実数)	100	100 m3

第 0006 号 代価表 タンパ締固め

施工P(機1.45%, 労97.12%, 材1.43%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60～80kg	1.450	%			K1
特殊作業員	51.920	%			R1
普通作業員	45.200	%			R2
ガソリン レギュラー	1.430	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 砕石埋戻 (RB-40) (BH0.2)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m3			
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン バ締固め数量(m3)(実数)(100 m3)	1.000	m3			第0004号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0008 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・テイエール]4t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0009号 代価表 20190901
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		1		ダンプトラック 4t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		4.1		4.1 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		3		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0009 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積級

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	34.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 4 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0010 号 代価表 硬質塩化ビニル管設置工(市場単価)

1.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
硬質塩化ビニル管設置工(材工共) 呼び径150mm	1.000	m			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		1		呼び径 150mm	
J 0 2 施工規模		1		20m以上	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0011 号 代価表 砂基礎（市場単価・機械施工）

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.260	m ³			
砂基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m ³ 未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	m ³			第0012号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0012 号 代価表 砂基礎設置工(機械施工)(市場単価)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要																
砂基礎工(手間のみ) 砂基礎設置 機械施工	1.000	m3																			
合計																					
			単位当り																		
<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 40%;">条件名称</th> <th style="width: 15%;">入力値</th> <th style="width: 30%;">入力名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J 0 1</td> <td>施工規模</td> <td>2</td> <td>10m3未満</td> </tr> <tr> <td>J 0 2</td> <td>時間的制約を受ける場合の補正</td> <td>2</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>J 0 3</td> <td>夜間作業補正</td> <td>2</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table>							条件名称	入力値	入力名称	J 0 1	施工規模	2	10m3未満	J 0 2	時間的制約を受ける場合の補正	2	無	J 0 3	夜間作業補正	2	無
	条件名称	入力値	入力名称																		
J 0 1	施工規模	2	10m3未満																		
J 0 2	時間的制約を受ける場合の補正	2	無																		
J 0 3	夜間作業補正	2	無																		

第 0013 号 代価表 底部工 (1号用, 標準用, 本管 φ 150)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
コンクリート (F18-8-25BB、W/C比指定無し) 構造物種別(無筋・鉄筋構造物), 打設工法(人力打設) , コンクリート規格(18-8-25 (高炉)), 養生工の種類(一般養生), 現場内小運搬の有無(無し), 費用の内訳(全ての費用)	0.151	m ³			施工P 第0014号 代価表 20190901
モルタル上塗りマンホール用 配合比(配合比 1 : 2), モルタル厚さ(10~30mm) (実数 入力) (20 mm), セメント種類(普通)	0.713	m ²			第0015号 代価表 20190901
再生クラッシャーラン RB-40	0.228	m ³			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称	入力値		入力名称		

第 0014 号 代価表 コンクリート

施工P(機0.00%, 労31.82%, 材68.18%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
普通作業員	14.900	%			R1
特殊作業員	8.390	%			R2
世話役	6.320	%			R3
生コンクリート W/C=指定無 18-8-25 (20) 高炉	68.180	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物
J 0 2 打設工法	4	人力打設
J 0 3 コンクリート規格	41	18-8-25 (高炉)
J 0 5 養生工の種類	2	一般養生
J 0 7 現場内小運搬の有無	2	無し
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0015 号 代価表 モルタル上塗りマンホール用

1.000 m2 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
左官		人			
普通作業員		人			
モルタル練	0.020	m3			施工P
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

	条件名称	入力値	入力名称
J 0 1	配合比	2	配合比 1 : 2
J 0 2	モルタル厚さ(10~30mm) (実数入力)	20	20 mm
J 0 3	セメント種類	1	普通

第 0016 号 代価表 組立マンホール設置工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		4		1号(900mm) 3m以下	
J 0 2 施工規模		2		4箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	

第 0017 号 代価表 機械掘削工(小型バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[コーラ型](2次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			第0018号 代価表 20190901
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 小型バックホ規格	入力値 2	入力名称 排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)
-------	------------------	----------	--------------------------------

第 0018 号 代価表

小型バックホウ運転[クローラ型] (2次) 山積0.13m3 (平積0.1m3)

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要						
運転手 (特殊)		人									
軽油 1. 2号	25.000	L									
小型バックホウ (クローラ) [標準] 排出ガス対策型 (第2次基準) 山積0.13m3		供用日									
諸雑費 (まるめ)	1.000	式									
合計											
			単位当り								
<table border="1" style="width: 100%; height: 500px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">条件名称</th> <th style="width: 33%;">入力値</th> <th style="width: 33%;">入力名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="height: 500px;"></td> </tr> </tbody> </table>						条件名称	入力値	入力名称			
条件名称	入力値	入力名称									

第 0019 号 代価表 掘削

施工P(機0.00%, 労100.00%, 材0.00%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要																		
普通作業員	100.000	%			R1																		
			(標準単価 積算単価))																		
<table border="0"> <tr> <td></td> <td>条件名称</td> <td>入力値</td> <td>入力名称</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>J 0 1</td> <td>土質</td> <td>1</td> <td>土砂</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>J 0 2</td> <td>施工方法</td> <td>4</td> <td>現場制約あり</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							条件名称	入力値	入力名称			J 0 1	土質	1	土砂			J 0 2	施工方法	4	現場制約あり		
	条件名称	入力値	入力名称																				
J 0 1	土質	1	土砂																				
J 0 2	施工方法	4	現場制約あり																				

第 0020 号 代価表 砂埋戻 (BH0.1)

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m ³			
機械投入埋戻工(小型バックホ) 小型バックホ規格(排対(2次)山積0.13m ³ (平0.1m ³)), タンバ締固め数量(m ³) (実数) (100 m ³)	1.000	m ³			第0021号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0021 号 代価表 機械投入埋戻工(小型バックホ)

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
世話役		人			
普通作業員		人			
小型バックホ運転[コーラ型](2次)山積0.13m3(平積0.1m3)		日			
タンパ 締固め	100.000	m3			施工P
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 小型バックホ規格	2	排対(2次)山積0.13m3(平0.1m3)
J 0 2 タンパ締固め数量(m3)(実数)	100	100 m3

第 0022 号 代価表 砕石埋戻 (RB-40) (BH0.1)

1.000 m³ 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
再生クラッシャーラン RB-40	1.330	m ³			
機械投入埋戻工(小型バックホ) 小型バックホ規格(排対(2次)山積0.13m ³ (平0.1m ³)), タンバ締固め数量(m ³) (実数) (100 m ³)	1.000	m ³			第0021号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	

第 0023 号 代価表 人力砂埋戻 (クハ°-締固め)

1.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
砂 埋め戻し用	1.330	m3			
埋戻し 施工方法(現場制約あり),土質(土砂),締固めの有無 (有り)	1.000	m3			施工P 第0024号 代価表 20190901
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0024 号 代価表 埋戻し

施工P(機0.31%, 労99.38%, 材0.31%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
タンパ及びランマ 質量 60～80kg	0.310	%			K1
普通作業員	88.140	%			R1
特殊作業員	11.240	%			R2
ガソリン レギュラー	0.310	%			Z1
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 施工方法	6	現場制約あり
J 0 2 土質	1	土砂
J 0 3 締固めの有無	1	有り

第 0025 号 代価表 発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み

10.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
ダンプトラック[オムロート・ティセール]2t積級 機械損耗部品補正(良好)		日			第0026号 代価表 20190901
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 ダンプトラック規格		2		ダンプトラック 2t積級	
J 0 2 運搬距離 (実数入力)		4.1		4.1 km	
J 0 3 DID区間		1		DID区間なし	
J 0 4 バック杓規格		4		小型(2次)山積0.13m3(平0.1m3)	
J 0 5 タイヤ損耗費		2		良好	

第 0026 号 代価表 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]2t積級

1.000 日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
運転手 (一般)		人			
軽油 1. 2号	22.000	L			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級		供用日			
タイヤ損耗費 2～3 t 積級 良好 供用日		供用日			
諸雑費 (まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

J 0 1	条件名称 機械損耗部品補正	入力値 2	入力名称 良好
-------	------------------	----------	------------

第 0027 号 代価表 ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	箇所 当り 摘要
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
	条件名称	入力値	入力名称		
J 0 1	規格・仕様	2	ます径 200mm		
J 0 2	施工規模	2	5箇所未満		
J 0 3	時間的制約を受ける場合の補正	2	無		
J 0 4	夜間作業補正	2	無		
J 0 5	鋳鉄製防護蓋設置の有無	2	無		

第 0028 号 代価表 ます設置工(塩化ビニル製)(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	概要
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)	1.000	箇所			
塩化ビニル製ます設置工 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費(手間のみ)	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 規格・仕様	2	ます径 200mm
J 0 2 施工規模	2	5箇所未満
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正	2	無
J 0 4 夜間作業補正	2	無
J 0 5 鋳鉄製防護蓋設置の有無	1	有

第 0029 号 代価表 取付管布設および支管取付工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	概要
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径150	1.000	箇所			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値		入力名称	
J 0 1 規格・仕様		3		管径 150mm	
J 0 2 施工規模		2		5箇所未満	
J 0 3 時間的制約を受ける場合の補正		2		無	
J 0 4 夜間作業補正		2		無	
J 0 5 取付管長3m未満の場合の補正		1		有	
J 0 6 取付管長5m以上12m未満の補正		2		無	
J 0 7 本管材質コンクリート製・陶製の補正		1		有	

第 0030 号 代価表 取付管布設および支管取付工(市場単価)

1.000 箇所 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径150	1.000	箇所			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		
J 0 1	条件名称 規格・仕様	入力値 3	入力名称 管径 150mm		
J 0 2	施工規模	2	5箇所未満		
J 0 3	時間的制約を受ける場合の補正	2	無		
J 0 4	夜間作業補正	2	無		
J 0 5	取付管長3m未満の場合の補正	1	有		
J 0 6	取付管長5m以上12m未満の補正	2	無		
J 0 7	本管材質コンクリート製・陶製の補正	2	無		

第 0031 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)
1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J 0 5 費用の内訳	1	全ての費用

第 0032 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J 0 2 障害等の有無	1	無し
J 0 3 騒音振動対策	1	不要
J 0 4 舗装版厚	4	15cm以下
J 0 6 積込作業の有無	1	有り
J 0 7 費用の内訳	1	全ての費用

第 0033 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)
1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 1 0 運搬距離 (km) (DID区間無)	6	22.0km以下
J 1 6 費用の内訳	1	全ての費用

第 0034 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機0.50%, 労42.14%, 材57.36%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6 t	0.320	%			K1
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60 kg	0.160	%			K2
特殊作業員	20.870	%			R1
普通作業員	14.540	%			R2
世話役	4.350	%			R3
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	57.190	%			Z1
ガソリン レギュラー	0.130	%			Z2
軽油 1.2号	0.030	%			Z3
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	1	1.4m未満 (仕上厚50mm以下)
J02 1層当平均仕上厚 50mm以下	30	30 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物 (20)
J06 瀝青材料種類	5	無し
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0035 号 代価表 下層路盤(歩道部)

施工P(機6.05%, 労66.00%, 材27.95%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.11m ³ (平積0.08m ³)	3.130	%			K1
振動ローラ(舗装用) [搭乗・コンバインド式] 運転質量3~4t	2.750	%			K2
普通作業員	27.740	%			R1
運転手(特殊)	23.310	%			R2
特殊作業員	13.030	%			R3
再生クラッシャーラン RC-40	26.110	%			Z1
軽油 1.2号	1.790	%			Z2
			(標準単価 積算単価)

条件名称	入力値	入力名称
J01 全仕上り厚(実数入力)	220	220 mm
J02 施工区分	2	2層施工
J03 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0036 号 代価表 不陸整正

施工P(機21.12%, 労52.35%, 材26.53%, 市0.00%)
1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m	10.420	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	8.070	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	2.630	%			K3
運転手 (特殊)	33.040	%			R1
特殊作業員	10.170	%			R2
普通作業員	7.380	%			R3
世話役	1.760	%			R4
再生クラッシャーラン RC-40	21.170	%			Z1
軽油 1.2号	5.360	%			Z2
			(標準単価 積算単価))

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	6	17mm以上21mm未満
J03 補足材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J04 費用の内訳	1	全ての費用

第 0037 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.55%, 労9.26%, 材89.19%, 市0.00%)

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.000	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.160	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	0.160	%			K3
普通作業員	3.380	%			R1
特殊作業員	1.930	%			R2
運転手 (特殊)	1.880	%			R3
世話役	0.660	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(20)	81.510	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.150	%			Z2
軽油 1.2号	0.450	%			Z3
			(標準単価 積算単価)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	4	3.0m超
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0038 号 代価表 長尺U字溝(歩道用)[土木工事標準単価]

10.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無	10.000	m			
U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無	10.000	m			
再生クラッシャーラン RB-40	0.600	m ³			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 作業区分	3	据付 再利用撤去
J02 U字側溝種類	1	KUS300*300
J03 夜間作業の有無	2	無
J04 時間的制約の有無	1	無し
J05 施工箇所による補正	1	無
J06 基礎砕石施工の有無	1	有
J07 基礎砕石の種類	4	再生クラッシャーラン RB-40
J08 基礎砕石設計数量	0.5	0.5 m ³ /10m

第 0039 号 代価表 コンクリート側溝蓋(歩道用)(県規格)[土木工事標準単価]

100.000 枚 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間 170kg以下 制約無	100.000	枚			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 作業区分	3	据付 再利用撤去
J 0 2 蓋版の種類	6	ISL-300
J 0 3 夜間作業の有無	2	無
J 0 4 時間的制約の有無	1	無し
J 0 5 施工箇所による補正	1	無

第 0040 号 代価表 交通誘導警備員B

1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当り		
条件名称		入力値	入力名称		

令和元年度

R元市単特環第3号管渠工事

数 量 計 算 書

(単独)

茨城県石岡市都市建設部下水道課

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
管きょ工	内径φ150mm	路線延長		m	45.5	45.50	
	管路土工						
		管路掘削	合計	m ³	52		
			機械掘削 山積Q=0.28m ³	m ³	52	52.04	
			機械掘削 山積Q=0.45m ³	m ³			
		管路埋戻(砂)	合計(管上30cmまで)	m ³	16		
			山積Q=0.28m ³ (管上30cmまで)	m ³	16	15.98	
			山積Q=0.45m ³ (管上30cmまで)	m ³			
		管路埋戻(発生路盤材)	合計	m ³	7		
			山積Q=0.28m ³	m ³	7	6.54	
			山積Q=0.45m ³	m ³			
		管路埋戻(発生土)	合計(管上30cm以上)	m ³			
			山積Q=0.28m ³	m ³			
			山積Q=0.45m ³	m ³			
		管路埋戻(RB-40)	合計(管上30cm以上)	m ³	18		
			山積Q=0.28m ³	m ³	18	17.65	
			山積Q=0.45m ³	m ³			
		発生土処理	合計	m ³	45		
			山積Q=0.28m ³	m ³	45	44.76	
			山積Q=0.45m ³	m ³			
	管布設工						
		硬質塩化ビニル管	φ150mm×4.00m	本	12	12.00	
			φ200mm×4.00m	本			
		硬質塩化ビニル管	φ150mm×4.00m	本			
		マンホール用可とう継手	φ150mm	個	5	5	
			φ200mm	個			
		硬質塩化ビニル管布設工	φ150mm	m	42.80	42.80	
			φ200mm	m			
		硬質塩化ビニル管	φ150	m			
		本管用曲管	VUφ150-30°	個	2	2	
		砂基礎	W=0.80 素掘部	m	42.30	42.32	

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
				m3	3.00	3.40	
			W=0.90 土留部	m			
				m3			
			W= 土留部	m			
				m3			
			W= 土留部	m			
				m3			
	管路土留工						
			素掘り	m	45.50	45.50	
マンホール工	組立マンホール工						
	組立1号マンホール			箇所	3	3	
		マンホール材料		式			
		マンホール蓋	T-14 φ 600	組	3	3	
			T-25 φ 600	組			
		転落防止はしご	φ 600用 H=2.0m以上	組			
		調整モルタル		m ³	0.035	0.0348	
			0.035×1875kg/m3	Kg	65.63		
		調整リング	50mm φ 600	個			
			100mm φ 600	個	5	5	
			150mm φ 600	個			
		斜壁ブロック	H=300	個			
			H=450	個	1	1	
			H=600	個	2	2	
		直壁ブロック	H=300	個			
			H=600	個			
			H=900	個			
			H=1200	個			
			H=1500	個			
			H=1800	個			
		躯体ブロック	H=600	個	2	2	
			H=900	個	1	1	
			H=1200	個			
			H=1500	個			
			H=1800	個			

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量
		底版ブロック	H=130	個	3	3
		削孔工	φ100mm	箇所		
			φ150mm	箇所	3	3
			φ200mm	箇所		
		底部工				
			有り	箇所	3	3
			無し	箇所		
			砕石基礎工	m ² /箇所	0.190	0.190
			RB-40 0.19×1.2	m ³ /箇所	0.228	0.228
			インバートコンクリート	m ³ /箇所	0.151	0.151
			モルタル上塗り工	m ² /箇所	0.713	0.713
		ブロック据付工				
			3m以下	箇所	3	3
			3m超4m以下	箇所		
			4m超5m以下	箇所		
取付管						
及びます工	土工	掘削	機械掘削合計	m ³	6	
			機械掘削 山積Q=0.13m ³	m ³	4	4.14
			人力掘削 柵	m ³	2	2.11
		埋戻(砂)	山積Q=0.13m ³ 管上30cmまで	m ³	1	1.42
		埋戻(発生路盤材)	山積Q=0.13m ³	m ³	0.4	0.41
		埋戻(RB-40)	埋戻工 山積Q=0.13m ³	m ³	0.5	0.52
		埋戻(砂)	合計(管上30cm以上)	m ³	3	
			埋戻工 山積Q=0.13m ³	m ³	1	1.32
			埋戻工 柵 人力	m ³	2	2.07
		発生土処理	合計	m ³	6	
			山積Q=0.13m ³	m ³	4	3.69
			柵	m ³	2	2.11
	ます設置工					
		小口径塩ビ製ます	3方向流入縦型 φ200-φ100	個		
			3方向流入横型 φ200-φ100	個	3	3
		プレーンエンド直管	VUφ150	本		
			VUφ200	本	2.81	2.81
		汚水ます蓋	塩ビ製T-2	個	2	2
			鋳鉄製防護蓋T-8	個	1	1

数量総括表

(単独)

工種	種別	細別	規格	単位	積算数量	設計数量	
		ます設置工 (塩化ビニル製)	1.0m以下	箇所	1	1	
			1.5m以下	箇所	2	2	
			2.0m以下	箇所			
		汚水蓋設置工	鋳鉄製防護蓋	箇所	1	1	
	取付管布設工						
		取付管材料		式	1		
		硬質塩化ビニル管	φ 150mm×4.00m	本	2	2	
		自在曲管	φ 150mm×0°	個	3	3	
			φ 150mm×30°	個	3	3	
			φ 150mm×60°	個			
			φ 150mm×75°	個			
		接着受口カラー	V U φ 150mm	個			
		取付管布設工	V U φ 100mm	m	7.3	7.25	
		支管90°	V U φ 150mm-100mm	個	2	2	
		支管取付工	本管 V U φ 100mm	箇所	2	2	
		マンホール用可とう継手	V U φ 100mm	個	2	2	
		取付管設置工					
		人孔取付	L≦3.0m	箇所	2	2	
			3.0m<L≦5.0m	箇所			
			5.0m<L	箇所			
		支管取付	L≦3.0m	箇所	1	1	
			3.0m<L≦5.0m	箇所			
			5.0m<L	箇所			
付帯工						(本管)	(取付管)
	仮復旧 市道As (A)'						
	舗装撤去工						
		舗装版切断	As 15cm以下	m	94	91.00	3.00
			Co 15cm以下	m			
		舗装版破砕	As t=10cm以下	m ²	38	36.40	1.17
			Co t=10cm以下	m ²			
		殻運搬処理	Asガラ運搬	m ³	2	1.82	0.05
			Coガラ運搬	m ³			
			Asガラ処理	t	4	4.28	0.12
			Coガラ処理	t			
	道路復旧工						
		市道車道 A s (A)'					

塩ビ管材料計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	人孔による減長	路線延長 m	人孔控除 m	管体延長 m	人孔用砂付短管			直管部延長	本数	片受直管 ゴム輪受口 4.0m/本	可とう 継手	摘要
	上流	上流	上流				(差口)	(受口)	副管(受口)					
	下流	下流	下流				0.50m/本	0.50m/本	1.00m/本					
6174-2	6174-2-1	1号	0.450	15.00	0.90	14.10				14.10	4		2	市道As(A)'
	6174-2-2	1号	0.450											
6174-2	6174-2-2	1号	0.450	3.50	0.45	3.05				3.05	1		1	市道As(A)'
	6174-2-3													
6174-2	6174-2-3			8.00		8.00				8.00	2			市道As(A)'
	6174-2-4													
6174-2	6174-2-4			3.50	0.45	3.05				3.05	1		1	市道As(A)'
	6174-2-5	1号	0.450											
6174-2	6174-2-5	1号	0.450	15.50	0.90	14.60				14.60	4		1	市道As(A)'
	6174-3-1	1号	0.450											
合計				45.50	昼間 夜間	42.80				42.80	12		5	
										VU PRP	42.80 12.00			

管渠土工計算書

路線番号	人孔番号	人孔種別	平均掘削深	掘削幅	路線延長	人孔減長	管体延長	基礎減長	基礎延長	舗装種別	As厚	路盤厚	土 工										基礎工				
													機械掘削			埋 戻 し						残土		砂基礎			
													BH	BH	控除	管上30cm~管下		発生路盤材(×0.9)		路盤下~管上30cmまで		0.28m ³	0.45m ³	管下10cm			
													0.28m ³	0.45m ³	管面積	埋戻高	0.28m ³	0.45m ³	0.28m ³	0.45m ³	埋戻高			0.28m ³	0.45m ³	0.28m ³	0.45m ³
V 1	V 1	(m ²)	(m)	V 4	V 4	(m ³)	(m ³)	(m)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	(m ³)	V 6	V 6												
上流	下流	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)																		
6174-2	6174-2-1 6174-2-2	1号 1号	1.50	0.80	15.00	0.90	14.10	0.53 0.53	13.94	市道As(A)'	0.05	0.20	17.4		0.021	0.465	5.27		2.16		0.685	6.06		15.00		1.12	
6174-2	6174-2-2 6174-2-3	1号	1.49	0.80	3.50	0.45	3.05	0.53	2.97	市道As(A)'	0.05	0.20	4.03		0.021	0.465	1.23		0.50		0.675	1.39		3.47		0.24	
6174-2	6174-2-3 6174-2-4		1.44	0.80	8.00		8.00		8.00	市道As(A)'	0.05	0.20	8.9		0.021	0.465	2.81		1.15		0.625	2.85		7.62		0.64	
6174-2	6174-2-4 6174-2-5	1号	1.47	0.80	3.50	0.45	3.05	0.53	2.97	市道As(A)'	0.05	0.20	3.98		0.021	0.465	1.23		0.50		0.655	1.33		3.42		0.24	
6174-2	6174-2-5 6174-3-1	1号	1.48	0.80	15.50	0.90	14.60	0.53 0.53	14.44	市道As(A)'	0.05	0.20	17.73		0.021	0.465	5.44		2.23		0.665	6.02		15.25		1.16	
合計					45.50			昼間 夜間	42.32				52.04				15.98		6.54			17.65		44.76		3.40	

仮設材別集計表

路線番号	人孔番号	掘削 深均	掘削 幅	路線 延長 L	建込み簡易土留め工法					建込み簡易土留め工法 機械掘削					建込み簡易土留め工法 管基礎工					建込み簡易土留め工法 埋戻(管上30cm)					建込み簡易土留め工法 埋戻(管上30cm)					建込み簡易土留め工法 埋戻					建込み簡易土留め工法 基礎延長					
					H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	H=1.5	H=2.0	H=2.5	H=3.0	H=3.5	
					(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m3)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
6174-2	6174-2-1																																							
	6174-2-2	1.50	0.80	15.00	15.00						17.40					1.12					2.16					5.27					6.06					13.94				
6174-2	6174-2-2																																							
	6174-2-3	1.49	0.80	3.50	3.50						4.03					0.24					0.50					1.23					1.39					2.97				
6174-2	6174-2-3																																							
	6174-2-4	1.44	0.80	8.00	8.00						8.90					0.64					1.15					2.81					2.85					8.00				
6174-2	6174-2-4																																							
	6174-2-5	1.47	0.80	3.50	3.50						3.98					0.24					0.50					1.23					1.33					2.97				
6174-2	6174-2-5																																							
	6174-3-1	1.48	0.80	15.50	15.50						17.73					1.16					2.23					5.44					6.02					14.44				
合計		平均																																						
		1.48		45.50	45.50						52.04					3.40					6.54					15.98					17.65					42.32				
VU				45.50	45.50						52.04					3.40					6.54					15.98					17.65					42.32				
PRP																																								
計				45.50	45.50						52.04					3.40					6.54					15.98					17.65					42.32				

1号組立式マンホール底部工数量 (φ 1 5 0)

1. インバートコンクリート

$$\begin{aligned} & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 \times 0.25 = 0.159\text{m}^3 \\ & - \frac{1}{4} \times \pi \times 0.15^2 \times \frac{1}{2} \times 0.90 = -0.008\text{m}^3 \\ & \Sigma V = 0.15\text{m}^3 \end{aligned}$$

2. モルタル上塗り工 t=2cm

$$\begin{aligned} & \frac{1}{4} \times \pi \times 0.90^2 = 0.636\text{m}^2 \\ & 0.15 \times \pi \times \frac{1}{2} \times 0.90 = 0.212\text{m}^2 \\ & - 0.15 \times 0.90 = -0.135\text{m}^2 \\ & \Sigma A = 0.713\text{m}^2 \end{aligned}$$

3. 基礎碎石 t=20cm

$$\frac{1}{4} \times \pi \times 1.10^2 \times 0.20 = 0.190\text{m}^3$$

取付管材料調書

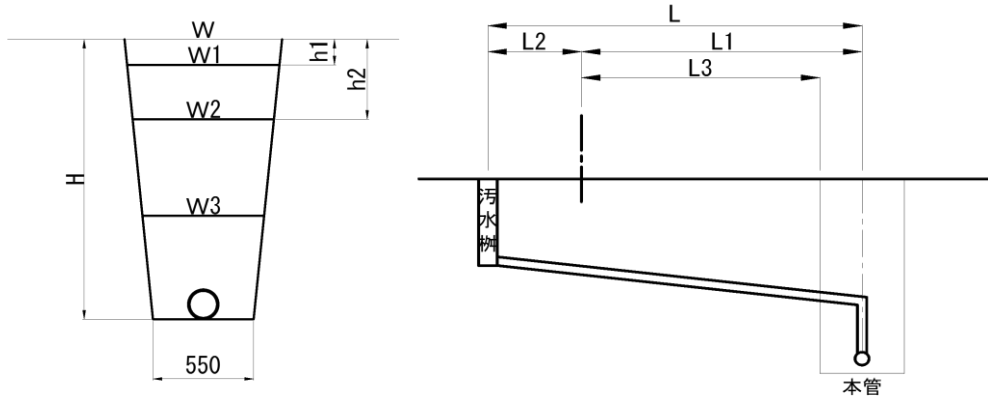
路線番号	家屋名	柵深さ	柵タイプ	設置方向		本管 平均 土被り	本管 平均 掘削深	管延長	横断延長	宅地- 道路 m	接続方法 1:人孔接続 2:管接続	取付管材料							
				L(左)	R(右)							片受直管 L=4.00	自在曲管 0°	自在曲管 30°	自在曲管 60°	自在曲管 75°	支管 90°	接着受口カラー φ100	可とう継手 φ100
6174-2	森	1.20	1	A	L	1.23	1.50	1.62	2.30		1	1.62	1	1					1
6174-2	渡辺	1.10	1	A	L	1.23	1.50	2.42	3.10		2	2.42	1	1				1	1
6174-2	川辺	0.90	1	A	L	1.18	1.44	1.17	1.85		2	1.17	1	1				1	
合計									7.25 平均2.42m		人孔1 管2	5.21 2本	3	3				2	2

取付管土工計算書

取付管径 φ100 外径0.114m

路線番号	柵番号	柵個数	柵深さ	設置方向 L(左) R(右)	H1 VTRH トップ部- 民地高低 (m)	H 掘削深 (m)	h1 舗装厚 (m)	h2 舗装厚+ 路床厚 (m)	本管 掘削幅 (m)	掘削幅				占用延長				掘削 土量 (m3)	発生路 盤材 ×0.9 (m3)	埋戻土量 (道路部) RB-40 (m3)	埋戻土量 (宅内部) 砂 (m3)	管基礎 管上30cmまで 砂 (m3)	残土量 (m3)
										W	W1	W2	W3	L 全長	L1 道路 (m)	L2 宅内 (m)	L3 道路-本管掘削 (m)						
6174-2	森	1	1.20	L	1.20	1.21	0.05	0.25	0.80	0.790	0.780	0.740	0.633	2.3	1.30	1.00	0.90	1.47	0.12	0.22	0.54	0.45	1.33
6174-2	渡辺	1	1.10	L	1.10	1.12	0.05	0.25	0.80	0.770	0.760	0.720	0.633	3.1	2.10	1.00	1.70	1.88	0.23	0.29	0.46	0.63	1.63
6174-2	川辺	1	0.90	L	0.90	0.91	0.05	0.25	0.80	0.730	0.720	0.680	0.633	1.85	0.85	1.00	0.45	0.79	0.06	0.01	0.32	0.34	0.73
計	柵個数	3				3.24												4.14	0.41	0.52	1.32	1.42	3.69

- 掘削土量 = $(0.55+W1)/2 \times (H-h1) \times (L2+L3)$
- 発生路盤材 = $(W1+W2)/2 \times (h2-h1) \times L3$
- 埋戻土量(道路部) = $(W2+W3)/2 \times \{H-h2-(0.3+管外径)\} \times L3 - 発生路盤材 \times 0.9$
- 埋戻土量(宅内部) = $(W2+W3)/2 \times \{H-(0.3+管外径)\} \times L2$
- 管基礎 = $\{W3+0.55\}/2 \times \{(0.3+管外径) - 管断面積\} \times (L2+L3)$
- 残土 = 掘削土量 - 発生路盤材

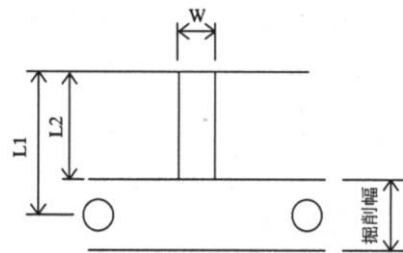


仮復旧計算書

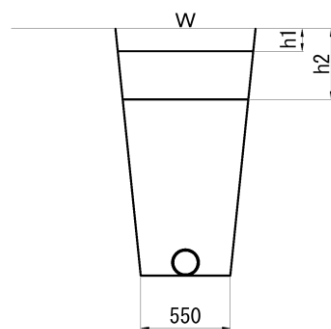
路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	仮復旧表層工				基層		路盤工			舗装切断工		舗装版破碎工			Asガラ処分工				備考			
					市道As(A) t=3cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	市道As(A) t=22cm (m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	AS 15cm以下 (m)	Co (m)	As		Co	市道As(A) t=5cm (m ³)	(m ³)	(m ³)		(m ³)	合計 (m ³)	
																	10c m以下 (m ²)	(m ²)								(m ²)
6174-2	6174-2-1 6174-2-2	市道As(A)'	15.00	0.80	12.00						12.00				30.00		12.00			0.60				0.60		
6174-2	6174-2-2 6174-2-3	市道As(A)'	3.50	0.80	2.80						2.80				7.00		2.80			0.14				0.14		
6174-2	6174-2-3 6174-2-4	市道As(A)'	8.00	0.80	6.40						6.40				16.00		6.40			0.32				0.32		
6174-2	6174-2-4 6174-2-5	市道As(A)'	3.50	0.80	2.80						2.80				7.00		2.80			0.14				0.14		
6174-2	6174-2-5 6174-3-1	市道As(A)'	15.50	0.80	12.40						12.40				31.00		12.40			0.62				0.62		
合計					36.40						36.40				91.00		36.40			掘削積込	36.40			1.82		1.82

付帯工計算書(取付部)

路線 番号	柵番号	取付管延長L1		設置 数	側溝等 減量 I	舗装 種別		本管 掘削幅	L2	本管 影響巾 B1m	取付管 影響巾 B2m	舗装掘削				舗装復旧			
		L,R	(m)			h1 舗層厚	h2 路床厚					カッター工 (m)	W	舗装剥がし t=5cm		舗装 (m ²)	路盤 (m ²)	(m ²)	(m ³)
														(m ²)	(m ³)				
6174-2	森	L	1.30	1	0.55	0.05	0.25	0.80	0.35			0.70	0.79	0.28	0.01	0.28	0.28		
6174-2	渡辺	L	2.10	1	0.55	0.05	0.25	0.80	1.15			2.30	0.77	0.89	0.04	0.89	0.89		
6174-2	川辺	L	0.85	1	0.55	0.05	0.25	0.80					0.73						
計											As 3.00	Co		1.17	0.05	1.17	1.17		



$L2 = L1 - (\text{掘削幅}/2) - I$



カッター工=L2×2
 路盤=W×L2
 舗装剥がし=W×L2

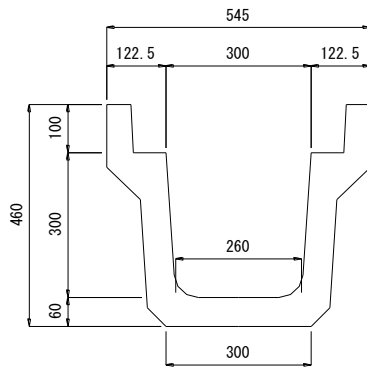
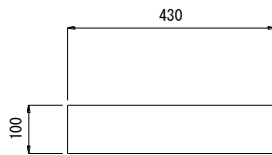
舗装復旧
 表層・基層・路盤=W×L2

本復旧計算書

路線番号	人孔番号	舗装種別	路線延長 (m)	掘削幅 (m)	本復旧幅 (m)	本復旧表層工			本復旧基層工 (m ²)	舗装切断工		舗装版破碎工 As 10 c m以下 (m ²)	Asガラ処分工			合計 (m ³)	備 考
						市道As(A) t=5cm (m ²)	(m ²)	(m ²)		有(1断面):1 有(2断面):2 無:空白 AS 15cm以下 (m)	市道As(A) t=3cm (m ³)		t=5cm (m ³)	(m ³)			
6174-2	6174-2-1 6174-2-2	市道As(A)'	15.00	0.80	5.10	76.50					76.50	0.36	3.23		3.59		
6174-2	6174-2-2 6174-2-3	市道As(A)'	3.50	0.80	5.10	17.85					17.85	0.08	0.75		0.83		
6174-2	6174-2-3 6174-2-4	市道As(A)'	8.00	0.80	5.10	40.80					40.80	0.19	1.72		1.91		
6174-2	6174-2-4 6174-2-5	市道As(A)'	3.50	0.80	5.10	17.85					17.85	0.08	0.75		0.83		
6174-2	6174-2-5 6174-3-1	市道As(A)'	15.50	0.80	5.10	79.05					79.05	0.37	3.33		3.70		
合計			45.50			232.05					232.05 掘削積込	1.08	9.78		10.86		

付帯工数量計算書

種 別	算 式	数 量
舗装工	<p>路盤工 不陸整正</p> <p>本復旧 - 仮復旧</p> <p>232.05 - (36.40 + 1.17)</p> <p>計 =</p>	<p>194.48 m²</p>
構造物撤去・再設置	<p>U字溝撤去</p> <p>U字溝再設置</p> <p>U字溝蓋撤去</p> <p>U字溝蓋再設置</p>	<p>計 = 10.00 m</p> <p>計 = 10.00 m</p> <p>計 = 10.00 m</p> <p>計 = 10.00 m</p>



令和元年度

R元市単特環第3号管渠工事

積 算 根 拠

(単独)

茨城県石岡市都市建設部下水道課

索掘り日数算定表

区間延長： 45.50 m

ハック材規格	0.28 m ³
掘削幅	0.8 m
管種	φ150
基礎種別	砂基礎

平均掘削深	1.48 m
工事延長	45.50 m
使用日数	3.5 日
日進量	13.0 m/日

H29.10月版歩掛

工種	全体数量	日当り作業量	日数の算出		
			算式	日数	実日数
As舗装版取壊し	36.4 m ²	510 m ²	36.40 m ² ÷ 510.0 m ³ /日	0.07	1.0 日
掘削工	52.04 m ³	59.0 m ³	52.04 m ³ ÷ 59.0 m ³ /日	0.88	
管基礎工	3.40 m ³	36.0 m ³	3.40 m ³ ÷ 36.0 m ³ /日	0.09	1.0 日
管布設工(φ150)	42.80 m	47.6 m	42.80 m ÷ 47.6 m/日	0.90	
埋戻工	40.17 m ³	36.0 m ³	40.17 m ³ ÷ 36.0 m ³ /日	1.12	1.1 日
路盤工	36.40 m ²	2層仕上げ 134 m ²	36.40 m ² ÷ 134.0 m ³ /日	0.27	0.4 日
路盤工	m ²	268 m ²	0.00 m ² ÷ 268.0 m ³ /日	0.00	
上層路盤工	m ²	268 m ²	0.00 m ² ÷ 268.0 m ³ /日	0.00	
基層工	m ²	250 m ²	0.00 m ² ÷ 250.0 m ³ /日	0.00	
仮復旧工	36.40 m ²	250 m ²	36.40 m ² ÷ 250.0 m ³ /日	0.15	

工程表	
工種	
建込及び掘削工 1.0 日	0.0 → 1.0
管基礎工及び管布設工 1.0 日	1.0 → 2.0
引抜及び機械埋戻工 1.1 日	2.0 → 3.1
路盤及び仮復旧工 0.4 日	3.1 → 3.5
人孔設置工 0.0 日	3.5 → 3.5
	3.5 日
使用回数	= 3.5 回
使用日数	= 3.5 日
日進量	= 45.5 m ÷ 3.5 日 = 13.00 m/日 → 13.0 m/日 ≒ m
	= 45.5 m ÷ 13 m/日 × 1.7 = 6.0 日 → 6 日
	= 45.5 m ÷ 13 m/日 = 3.50 日 → 4.0 日 (安全日数)

交通誘導員の算定（1名配置）

工種	形状寸法	実日数の算定			交通誘導員						
					A (人)	B (人)					
管布設工	φ75 素掘り				3.5	日					
	φ150 建込簡易土留め (H=1.50m)					日					
	φ150 建込簡易土留め (H=2.00m)					日					
	φ150 建込簡易土留め (H=2.50m)					日					
	φ150 建込簡易土留め (H=3.00m)					日					
	φ150 建込簡易土留め (H=3.50m)					日					
	φ150 建込簡易土留め (H=4.00m)					日					
	付帯工	舗装版切断	94.00	m	÷	230	m/日	=	0.41	日	
本復旧基層工			m ²	÷		m ² /日	=		日		
本復旧表層工		232.05	m ²	÷	2,300	m ² /日	=	0.10	日		
舗装版破碎		232.05	m ²	÷	510	m ² /日	=	0.46	日		
不陸整正		194.48	m ²	÷	1,510	m ² /日	=	0.13	日		
合計	配置人数 1 (人/日) × 4.60 日								5		

位置図 縮尺 1:10,000



図面 種別	位置図	図面 番号	1 5
縮尺	1:10,000		
工事名	R元市単特環第3号管渠工事		
工事場所	石岡市山崎地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

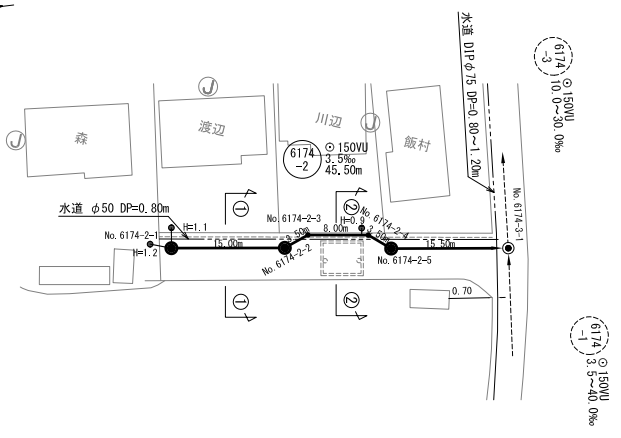
系統図 縮尺 1:2,500



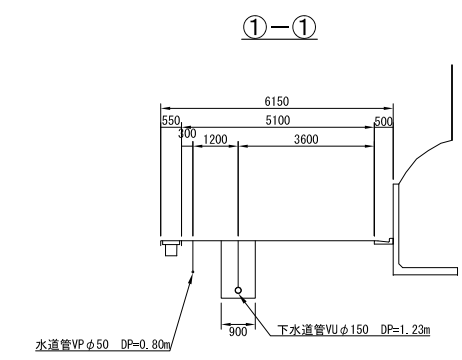
図面 種別	系統図	図面 番号	2 5
縮尺	1:2,500		
工事名	R元市単特環第3号管渠工事		
工事場所	石岡市山崎地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			



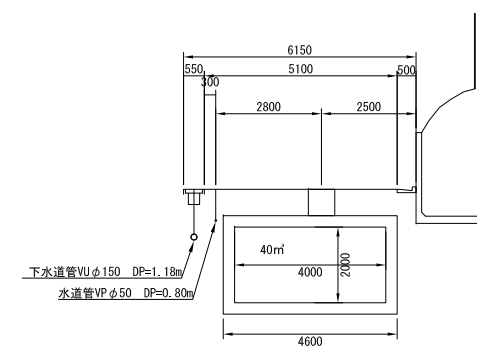
平面図 縮尺 1:500



横断面図 縮尺 1:100

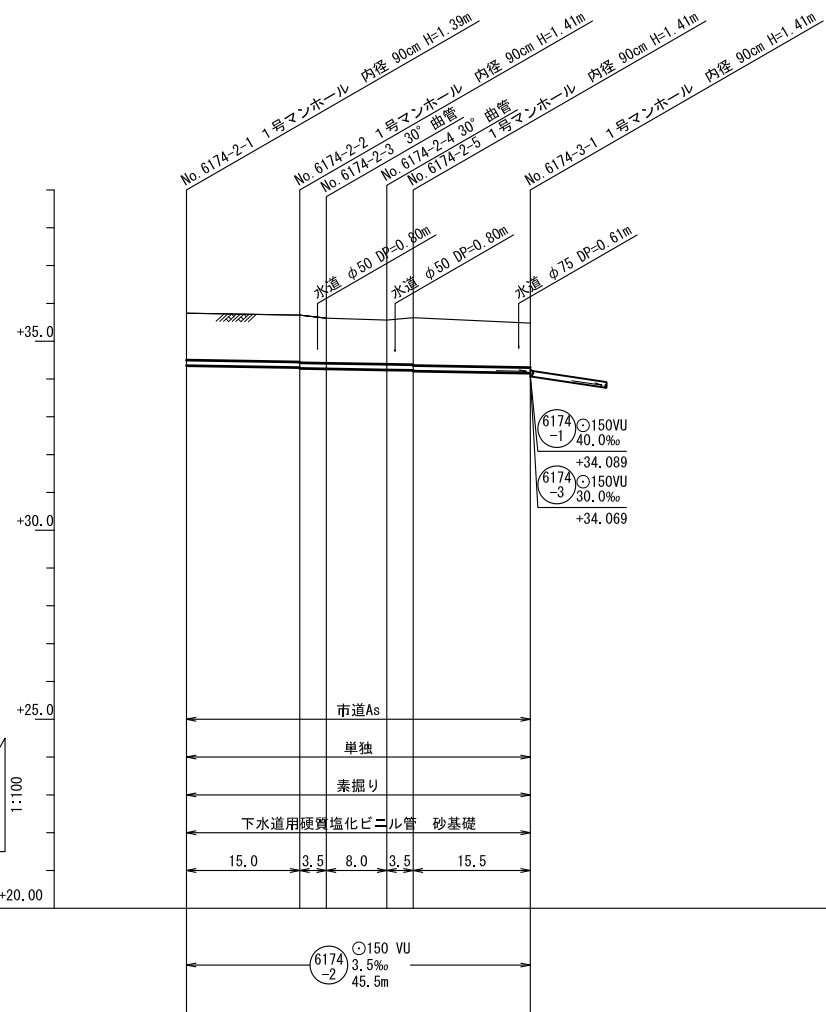
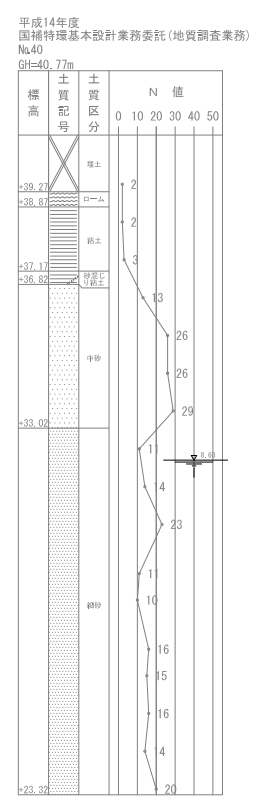


②-②

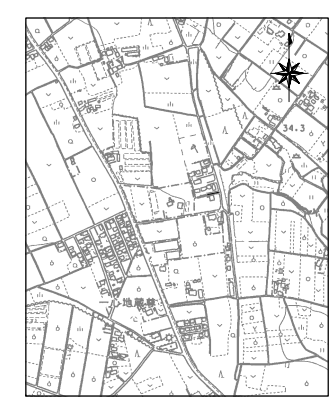


凡例

名称	記号
実施路線	——▶
計画路線	- - - -▶
既設路線	- · - ·▶
小型人孔 (内径30cm円形)	⊗▶
0号人孔 (内径75cm円形)	○▶
1号人孔 (内径90cm円形)	⊙▶
2号人孔 (内径120cm円形)	⊚▶
小口径塩ビ機 (標準型)	● (H=0.8)▶
小口径塩ビ機 (ドロップ型)	● (H=0.8(1.5))▶
曲管	——▶
水道管	——▶
ガス	——▶
電気	——▶
NTTケーブル	——▶
情報ケーブル	——▶



案内図 縮尺 1:10,000



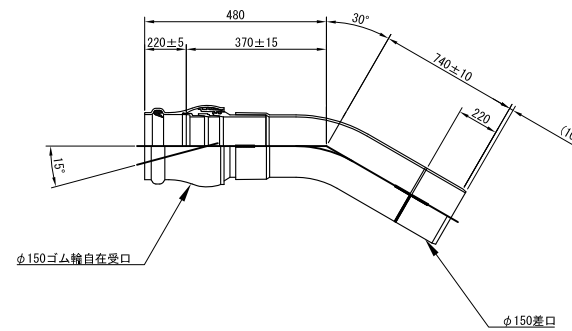
地盤高	35.74	35.69	35.61	35.56	35.62	35.48
土被	1.23	1.23	1.23	1.22	1.18	1.17
管底高	34.352	34.299	34.279	34.267	34.239	34.227
掘削深	1.50	1.50	1.52	1.49	1.43	1.47
単距離	0.0	15.0	3.5	8.0	3.5	15.5
追加距離	0.0	15.0	18.5	26.5	30.0	45.5

6174-2

図面別	平面図・縦断面図・横断面図	図面番号	3/5
縮尺	図示		
工事名	R元市単特環第3号管渠工事		
工事場所	石岡市山崎地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

本管用曲管構造図 縮尺 S=1:10

30° 自在曲管
(22.5° ~ 37.5°)



図面 種別	本管用曲管構造図	図面 番号	4 5
縮尺	1:10		
工事名	R元市単特環第3号管渠工事		
工事場所	石岡市山崎地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			

公 園 写 図 縮尺 S=1:500



圖面 種別	公園写図	圖面 番号	5 5
縮尺	1 : 500		
工事名	R元市単特環第3号管渠工事		
工事場所	石岡市山崎地内		
工種			
製図年月日	平成 年 月		
石岡市都市建設部下水道課			